

第 9 期 事 業 報 告

平成 29 年 10 月 1 日
平成 30 年 9 月 30 日

小豆島オリーブバス株式会社

1. 現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

小豆島においては、過疎化による人口の減少と少子高齢化がますます進展している状況です。

当社の運行する路線バスは、小豆島で暮らす自動車を運転しない住民や小豆島を訪れる観光客にとって欠くことのできない島内唯一の重要な公共交通機関です。そのため、安心・安全な運転と利用客に対する親切・丁寧な対応を心掛け、公共交通の維持確保に努めるとともに、利用客の増加を図るための利便性の向上、収益力の向上を図ってきたところです。

具体的には、ご承知のように、将来の超高齢化社会への対応、また、小豆島中央病院の開院、小豆島中央高校の開校など新拠点への移動手段、生活基盤の変化に対応するとともに、小豆島の主要産業である観光の更なる振興を図るため、平成 28 年 3 月 20 日には、大幅な路線再編（運行形態の見直し、運賃の大幅値下げ、運行時刻の変更）を行いました。

また、当期においては、更なる利便性の向上を図るため、2 路線において便数の拡充を行うとともに、収益の向上を図るため、バス停留所の命名権の売却を行ったところです。

その結果、当期の運送収入額は、高校生の通学利用などの島内利用者や国内或いはインバウンドによる路線バス利用の増加もあり、前期に比し 5,388 千円余増収の 124,674 千円余となりました。損益全般をみた場合、売上総収入に営業外収益を加えた経常収入総額については、190,198 千円余（対前年比 4,219 千円余増）となりましたが、経常経費のうち、労働条件の改善に伴う経費や燃料費、車両修繕費が増加したため、経常費用総額は、214,795 千円余（対前年比 12,890 千円余増）となりました。これに国、県、町からの補助金である特別利益を加えた税引き後の当期利益は、3,838 千円余となりました。

今後においても、小豆島で暮らす住民、小豆島を訪れる観光客など全ての人々が安心して利用できる公共交通を目指し、安心・安全な運転、親切・丁寧な対応に努め、島の「足」として、より一層多くの方々に利用していただけるよう、社員一丸となって努めてまいります。

(2) 従業員の状況

	正社員			契約社員等		合計
	乗務運転手	事務職	平均年齢	乗務運転手	その他	
男	23	2	52.7	11	0	36
女	0	2	51.5	0	1	3
合計	23	4	52.6	11	1	39

2. 株式発行に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 8,000株
- (2) 発行済株式総数 4,200株
- (3) 当事業年度末の株主総数 28名
- (4) 上位4名の株主

株主名	持株数	持株比率
土庄町 町長 三枝邦彦	1,100株	26.19
小豆島町 町長 松本 篤	1,100株	26.19
土庄町自治連絡協議会	200株	4.76
小豆島町自治連合会	200株	4.76

3. 役員に関する事項

- (1) 取締役 10名
- (2) 監査役 2名

4. 損益計算書

(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(単位：円)

科 目	金	額
【売 上 高】	188,208,950	
【売上原価】	35,166,105	
売上総利益		153,042,845
【販売費及び一般管理費】	179,629,670	
営業利益		△26,586,825
【営業外利益】	1,989,518	
【営業外費用】	0	
経常利益		△24,597,307
【特別利益】	29,375,768	
税引前当期純利益		4,778,461
法人税、住民税及び事業税		940,000
当期純利益		3,838,461